

ご挨拶



日本心臓リハビリテーション学会
第2回東北支部地方会会長

上月正博

(東北大学大学院医学系研究科内部障害学)

日本心臓リハビリテーション学会第2回東北支部地方会を担当させていただくに当たり、ご挨拶を申し上げます。

心臓リハビリテーションは、わが国の厚生労働省が推進している4疾患・5事業の1つである心筋梗塞などの循環器疾患の治療と再発予防の重要な柱であるとともに、多要素プログラムを擁する「包括的リハビリテーション」の代表格です。心臓リハビリテーションにより、運動耐容能の向上、冠動脈硬化・冠循環の改善、冠危険因子の是正、生命予後の改善、QOLの改善などめざましい効果が示されており、しかもそのエビデンスレベルはA、クラスIと極めて高いです。このため心臓リハビリテーションは様々な循環器疾患の治療ガイドラインに「極めて有効な治療」の1つとして収載されており、リハビリテーションの中でも極めて先進的であるといえます。

第2回の東北支部地方会のテーマは「リハビリテーションのトップランナーとしての心臓リハビリテーション」としました。そのテーマに沿い、特別講演では、本学会理事長の後藤葉一先生に特別講演をお願いしました。また、シンポジウム1「東北発、新分野の心臓リハビリテーション：適応と効果」では、心臓リハビリテーションの広がる対象疾患と効果について、また、シンポジウム2「東北発、先進的な心臓リハビリテーションシステム：現状と課題」では、東北6県でリードしている新しい心臓リハビリテーションシステムについて議論し、各県がさらに連携を深めていきたいと思っています。運動負荷試験装置や運動機器などの展示も充実しています。

日本心臓リハビリテーション学会は1995年に設立され、会員は、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、管理栄養士、臨床心理士、健康運動指導士、研究者など多職種からなり、総会員数は約13,000人を誇る世界最大の心臓リハビリテーションに関する学術団体です。その中で、東北支部会員数は約750人となりますが、さらに活性化が必要です。東北地方における心臓リハビリテーションの普及や会員の相互の交流をさらに深めるために、多くの職種の皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。